（別紙）

生成 AI 機能に関する特約事項

本紙は、「AI ドキュメントアシスト」「AI コードサジェスト」「AI SQL サジェスト」「AI コードフィックス」（以下、総称して生成 AI 機能といいます）に関する注意事項になります。お客様が生成 AI 機能を利用する際、以下の内容をご確認の上でご利用ください。本紙に特段記載の無い定義については、WebPerformer-NX サービス約款およびサービス仕様書によるものとします。

１． 生成 AI 機能に関する説明

当社はお客様に対して、生成 AI 機能に関する情報を別紙 1 に記載し、提供いたします。

２． 生成 AI 機能の利用に関する課金形態

（１）生成 AI 機能は、当社が発行する「クレジット」を消費することで利用できる機能となります。「クレジット」は月初めに、各実行環境に対して利用サービスプラン表に記載するクレジット数を無償で付与いたしますが、月内のクレジット残数を翌月に繰り越すことはできません。

（２）お客様が無償付与分を超えて生成 AI 機能を利用したい場合、有償にて追加でクレジットを購入いただく必要があります。詳細につきましては価格表をご確認ください。

３． 生成 AI 機能に関する留意事項

お客様は、生成 AI 機能を利用する場合、次の事項に同意するものとします。

① 生成 AI 機能に活用する生成 AI には常に最新版のマニュアルを適用しておりますが、不具合がないことを担保するものではございません。また、提供する内容がお客様にとって必ずしも有用な情報であることも保証できかねます。

② 生成 AI 機能のソースコードもしくはその他の基礎となる構成要素（モデル、モデルパラメータ、モデルウェイトなど）を導出または生成 AI 機能の訓練データを複製するためのその他のプロセスもしくは手順を適用しないものとし、またはこれらを試みないものとします。

③ 生成 AI 機能はあくまで「提案」という位置づけであり、100%正しいアウトプットとして生成されるわけではございません。生成されたアウトプットの品質やセキュリティ上の脆弱性はお客様ご自身で確認いただく必要がございます。当社は生成されたアウトプットについて一切の責任を負いかねます。

④ 生成 AI 機能により「提案」されたアウトプットに関する権利は、当該アウトプットを生成したお客様に帰属するものとします。機械学習の性質上、アウトプットは一意でない場合があり、同一または類似の結果を生成する場合があります。なお、当社は本サービスを提供するために必要な範囲において当該アウトプットを使用、利用（複製を含みます。）することができるものとします。

別紙１

	AI ドキュメントアシスト	AI コードサジェスト
機能の概要	お客様が WebPerformer-NX の使用方法をチャット形式で生成 AI に質問ができる機能です。	お客様のより良い開発体験を実現するため、自然言語による指示でコード（JavaScript）を自動で生成する機能です。
AI を活用している範囲 (どの機能にどのような AI が活用されているのか)	オンラインマニュアルに対する検索操作を実行する際に AI を使用いたします。	入力された日本語に応じたコードを生成する際に AI を使用いたします。
適切な使用領域 (どのような目的でどのように利用するのか)	お客様が WebPerformer-NX の使い方(ドキュメントの該当箇所など)を知りたい際に、チャットベースで質問を入力してご利用いただきます。	お客様が WebPerformer-NX 特有のコードが分からない場合、あるいは、ボリュームの多いコードを書かなければならない場合において、お客様が実現したい内容を入力してご利用いただきます。
学習の有無 (プロンプトに入力した情報が AI 学習に利用されるのか)	無し	無し
ログの記録・保存	無し	無し
生成 AI の望ましくない動作や想定されるインシデント	お客様が入力する質問内容が抽象的な場合、回答内容として想定と異なる回答を返す場合がございます。	・お客様が入力した実現したいコメント(プロンプト)内容が抽象的な場合、生成したアクションが正常に動作しない、あるいは、想定と異なる場合がございます。 ・コメント(プロンプト)の内容に関わらず、提案されたコードには不備が含まれている、または想定と異なる場合がございます。 ・上記の場合に限らず、想定と異なる、または正常に動作しない等の問題が生じる場合がございますので、必ず、開発者ご自身の目で不備の確認をしていただく必要があります。

	AI SQL サジェスト	AI コードフィックス
機能の概要	お客様のより良い開発体験を実現するため、自然言語による指示でデータベース言語であるSQL（JavaScript）を自動生成する機能です。	お客様のより良い開発体験を実現するため、作成した JavaScript のコードを生成 AI がチェックし、必要に応じてコードの成型を行ってくれる機能です。
AI を活用している範囲 (どの機能にどのような AI が活用されているのか)	入力された日本語に応じた SQL を生成する際に AI を使用いたします。	作成した JavaScript の正否を判断する際に生成 AI を使用いたします。
適切な使用領域 (どのような目的でどのように利用するのか)	お客様がボリュームの多い SQL を書かなければならない場合、あるいは SQL の記述が得意でない場合に、実現したい内容を入力してご利用いただきます。	お客様が作成した JavaScript のコードに対し、コードの正否やエラー箇所を知りたい場合、あるいはより良いコード案を知りたい場合にご利用いただきます。
学習の有無 (プロンプトに入力した情報が AI 学習に利用されるのか)	無し	無し
ログの記録・保存	無し	無し
生成 AI の望ましくない動作や想定されるインシデント	・お客様が入力する質問内容が抽象的な場合、回答内容として想定と異なる回答を返す場合がございます。 ・コメント（プロンプト）の内容に関わらず、提案されている SQL には不備が含まれている、または想定と異なる場合がございます。 ・上記の場合に限らず、想定と異なる、または正常に動作しない等の問題が生じる場合がございますので、必ず開発者ご自身の目で不備の確認をしていただく必要があります。	・お客様が入力した、実現したいコメント（プロンプト）内容が抽象的な場合、生成したアクションが動作しない、または想定と異なる場合がございます。 ・コメント（プロンプト）の内容に関わらず、提案されているコードには不備が含まれている、または想定と異なる場合がございます。 ・上記の場合に限らず、想定と異なる、または正常に動作しない等の問題が生じる場合がございますので、必ず開発者ご自身の目で不備の確認をしていただく必要があります。